



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクソン

コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 承祐

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) オーウェン・マホニー TEL 03-3523-7910

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	77,510	18.5	38,096	31.8	36,103	27.7	25,495	27.9
23年12月期第3四半期	65,423	—	28,895	—	28,277	—	19,940	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 26,941百万円 (126.2%) 23年12月期第3四半期 11,911百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	59.02	57.39
23年12月期第3四半期	56.39	56.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	292,408	206,394	69.3
23年12月期	235,765	177,886	73.8

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 202,647百万円 23年12月期 173,979百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を基準日と定めておりますが、現時点では平成24年12月期の期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,973	19.8	44,431	16.2	42,628	15.5	28,876	12.1	66.75
	～108,210	～23.5	～47,253	～23.5	～45,450	～23.2	～30,966	～20.2	～71.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	434,425,900株	23年12月期	426,132,900株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	一株	23年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	432,010,600株	23年12月期3Q	353,638,900株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務危機や新興国経済の陰りによる世界経済の減速などの影響もあり、先行き不透明感が増しています。

一方、わが国経済は、東日本大震災からの復興需要など生産力や個人消費の回復は見られるものの、欧州債務問題の深刻化や新興国経済の一段の減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループはオンラインゲーム事業を中心にモバイルゲーム事業及びその他事業を展開し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスの提供、多様化するユーザーの嗜好に対応できる秀逸なコンテンツの獲得に積極的に努め、既存タイトルのアップデート及び新規タイトルの配信を推し進めてまいりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77,510百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は38,096百万円（同31.8%増）、経常利益は36,103百万円（同27.7%増）、四半期純利益は25,495百万円（同27.9%増）となりました。

報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

日本国内におきましては、「テイルズウィーバー」、「サドンアタック」等が好調に推移する一方で、一部タイトルでは減収となった結果、売上高は9,142百万円（前年同期比2.0%減）、また、積極的な広告宣伝活動などによる費用負担の増加により、セグメント利益は553百万円（同73.5%減）となりました。

#### ② 韓国

韓国国内におきましては、「サドンアタック」、「サイファーズ」の好調な推移や、中国における「ダンジョン・アンド・ファイター（日本名：アラド戦記）」の売上高増加に伴うロイヤリティ収入の増加により、売上高は60,260百万円（前年同期比27.9%増）、セグメント利益は35,862百万円（同44.0%増）となりました。

#### ③ 中国

中国国内におきましては、中国オンラインゲーム市場の成長に伴いコンサルティング収入が増加したことから、売上高は2,809百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は1,834百万円（同1.7%増）となりました。

#### ④ 北米

北米地域におきましては、前連結会計年度末に発生した「メイプルストーリー」におけるハッキングへの対応によりアップデートに遅れが生じた結果などを原因として、売上高は3,885百万円（前年同期比19.7%減）、セグメント損失は397百万円（前年同期は301百万円の損失）となりました。

#### ⑤ その他

その他地域におきましては、売上高は対前年比で減少いたしました。売上高は1,412百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益は267百万円（同16.3%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は292,408百万円となり、前連結会計年度末に比べて56,642百万円増加しております。

流動資産の残高は159,947百万円となり、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比7,180百万円増）等により、前連結会計年度末から9,224百万円増加しております。

固定資産の残高は132,460百万円となり、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比56,637百万円増）等により、47,417百万円増加しております。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は86,013百万円となり、前連結会計年度末に比べて28,134百万円増加しております。

流動負債の残高は29,719百万円となり、1年内返済予定の長期借入金の増加（前連結会計年度末比7,108百万円増）、未払法人税等の減少（同2,369百万円減）等により、前連結会計年度末から5,157百万円増加しております。

固定負債の残高は56,293百万円となり、長期借入金の増加（前連結会計年度末比25,070百万円増）等により、前連結会計年度末から22,977百万円増加しております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は206,394百万円となり、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加（前連結会計年度末比25,495百万円増）、為替換算調整勘定の増加（同2,469百万円増）等により28,507百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現状、売上高実績の推移、前提となる為替レートの見直し、gloops社の買収影響などを総合的に勘案し、平成24年12月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、当社を取り巻く国内外の情勢は変化が激しく、かつ、そのテンポは非常に速いため、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあります。つきましては、平成24年12月期の連結業績予想をレンジ形式により開示させていただきます。

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	104,334	47,082	46,043	32,737	75.88
今回修正予想 (B)	104,973 ～108,210	44,431 ～47,253	42,628 ～45,450	28,876 ～30,966	66.75 ～71.59
増減額 (B - A)	639 ～3,876	△2,651 ～170	△3,414 ～△592	△3,860 ～△1,770	—
増減率 (%)	0.6 ～3.7	△5.6 ～0.4	△7.4 ～△1.3	△11.8 ～△5.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	87,613	38,249	36,905	25,755	71.65

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

一部の連結子会社は原則的な処理によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	132,479	139,659
受取手形及び売掛金	13,845	16,076
有価証券	12	100
商品	40	61
その他	4,367	4,109
貸倒引当金	△22	△60
流動資産合計	150,722	159,947
固定資産		
有形固定資産	16,016	8,060
無形固定資産		
ゲーム著作権	31,163	27,158
のれん	11,595	12,394
その他	1,315	1,370
無形固定資産合計	44,074	40,923
投資その他の資産		
投資有価証券	17,002	73,639
その他	10,766	12,644
貸倒引当金	△2,815	△2,807
投資その他の資産合計	24,952	83,477
固定資産合計	85,043	132,460
資産合計	235,765	292,408
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	981	1,362
1年内返済予定の長期借入金	2,994	10,103
未払法人税等	6,671	4,302
前受収益	8,111	7,880
賞与引当金	1,082	943
資産除去債務	47	17
その他	4,672	5,109
流動負債合計	24,562	29,719
固定負債		
長期借入金	18,567	43,637
長期前受収益	5,707	4,907
退職給付引当金	203	158
負ののれん	3,553	2,989
資産除去債務	117	160
その他	5,167	4,440
固定負債合計	33,316	56,293
負債合計	57,878	86,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,300	51,215
資本剰余金	50,162	51,075
利益剰余金	90,757	116,252
株主資本合計	191,219	218,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	△652
為替換算調整勘定	△17,711	△15,242
その他の包括利益累計額合計	△17,239	△15,895
新株予約権	455	469
少数株主持分	3,451	3,277
純資産合計	177,886	206,394
負債純資産合計	235,765	292,408



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	65,423	77,510
売上原価	10,952	12,750
売上総利益	54,470	64,759
販売費及び一般管理費	25,575	26,663
営業利益	28,895	38,096
営業外収益		
受取利息	638	1,136
負ののれん償却額	728	688
雑収入	273	333
営業外収益合計	1,640	2,158
営業外費用		
支払利息	421	506
為替差損	492	1,021
持分法による投資損失	690	2,426
貸倒引当金繰入額	572	—
雑支出	79	197
営業外費用合計	2,258	4,151
経常利益	28,277	36,103
特別利益		
固定資産売却益	400	6
前期損益修正益	5	—
持分変動利益	13	93
関係会社株式売却益	82	178
その他	35	3
特別利益合計	537	281
特別損失		
固定資産除売却損	8	74
持分変動損失	6	15
減損損失	1,161	1,352
前期損益修正損	58	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	—
損害賠償金	121	—
その他	37	92
特別損失合計	1,397	1,533
税金等調整前四半期純利益	27,418	34,850
法人税等	7,416	9,253
少数株主損益調整前四半期純利益	20,001	25,597
少数株主利益	61	101
四半期純利益	19,940	25,495

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,001	25,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△506	△1,124
為替換算調整勘定	△7,574	2,343
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	125
その他の包括利益合計	△8,090	1,344
四半期包括利益	11,911	26,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,847	26,840
少数株主に係る四半期包括利益	63	101

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	中国	北米	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,325	47,109	2,613	4,840	63,888	1,534	—	65,423
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21	3,917	—	11	3,950	2	△3,952	—
計	9,346	51,027	2,613	4,851	67,838	1,537	△3,952	65,423
セグメント利益 又は損失(△)	2,087	24,911	1,803	△301	28,501	319	74	28,895

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、欧州及びアジア諸国が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額74百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
減損損失	—	1,161	—	—	1,161	—	—	1,161

(のれんの金額の重要な変動)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	166	1,679	—	—	1,846	—	—	1,846
当期末残高	866	10,843	—	—	11,709	—	—	11,709

(負ののれんの金額の重要な変動)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	—	728	—	—	728	—	—	728
当期末残高	—	3,646	—	—	3,646	—	—	3,646

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

### 3. 地域ごとの情報

(売上高)

(単位：百万円)

日本	韓国	中国	北米	その他	合計
9,328	21,389	24,503	4,930	5,270	65,423

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、カナダ

(2) その他……………欧州、アジア諸国、中南米

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	中国	北米	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,142	60,260	2,809	3,885	76,098	1,412	—	77,510
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,465	—	97	3,563	—	△3,563	—
計	9,142	63,726	2,809	3,982	79,661	1,412	△3,563	77,510
セグメント利益 又は損失（△）	553	35,862	1,834	△397	37,852	267	△24	38,096

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、欧州が含まれておりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△24百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
減損損失	16	1,335	—	—	1,352	—	—	1,352

（のれんの金額の重要な変動）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	170	1,701	—	—	1,872	—	—	1,872
当期末残高	1,714	10,680	—	—	12,394	—	—	12,394

（負ののれんの金額の重要な変動）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	—	688	—	—	688	—	—	688
当期末残高	—	2,989	—	—	2,989	—	—	2,989

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

### 3. 地域ごとの情報

(売上高)

(単位：百万円)

日本	韓国	中国	北米	その他	合計
9,155	21,687	37,316	4,253	5,097	77,510

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、カナダ

(2) その他……………欧州、アジア諸国、中南米

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

(株式取得による会社の買収)

当社は、平成24年10月1日付の取締役会において、株式会社gloopsの全株式を取得し子会社化することについて決議を行い、同日付で株式譲渡契約を締結しております。

#### 1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社gloops

事業の内容 ソーシャルアプリケーション事業

(2) 企業結合を行った主な理由

日本のゲーム市場において、近年モバイルゲーム市場は急速に拡大し、市場全体の成長を牽引しております。このような状況に鑑み、当社グループは、株式会社gloopsの株式取得を通じて、既に展開しているオンラインゲーム事業に加え、今後の継続的成長が予想されるモバイルゲーム市場へ本格参入いたします。

同社は日本のモバイルゲーム市場において革新的なゲームを制作することができる開発会社であり、業界の最大手企業として位置付けられております。同社が当社グループの持つユーザー基盤、ゲーム運営力、パートナーネットワークを活用し、国内だけでなく、グローバルに事業展開することにより、当社グループとのシナジーを最大限に享受することができるものと判断しております。

これらの理由から、当社グループの中長期的な業容拡大に加え、当社の株主にとっての価値向上に寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

平成24年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(6) 取得した株式の数及び持分比率

取得した株式の数：540株

取得後の持分比率：100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式会社gloopsの株式を100%取得したため

#### 2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

被取得企業の取得原価 36,516百万円

被取得企業の取得原価の内訳

株式取得費用（現金） 36,500百万円

株式取得に直接要した支出額（アドバイザー費用等） 16百万円

なお、支払資金の調達方法は、全て自己資金によっております。

3. 発生したのれんの金額等

現時点において確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点において確定しておりません。

5. 株式取得の相手先の名称

梶原 吉広 88.88%

池田 秀行 5.56%

植頭 啓行 5.56%

いずれも、同社の役員もしくは元役員の個人であります。

6. 被取得企業の規模（平成24年6月期）

資本金 26百万円

総資産 10,742百万円

純資産 3,884百万円

売上高 23,755百万円

営業利益 5,855百万円

経常利益 5,887百万円

当期純利益 3,097百万円